

# 議会広報

## かみいち

2024

38号

令和6年1月15日

新年の抱負・・・・・・・・・・P2～3  
12月定例会の要点・・・・・・・・P4  
委員会報告・・・・・・・・・・P5  
一般質問・・・・・・・・・・P6～12  
研修報告・・・・・・・・・・P13～15  
追跡レポート・・・・・・・・・・P15  
町民の声・・・・・・・・・・P16

(写真) つるぎフェスティバルinかみいち2023  
NSPいづみミュージックスクール

発行／上市町議会  
編集／議会広報特別委員会



令和6年上市町議会議員

# 「新年の抱負」



あけましておめでとうございます。  
新年にむけた抱負を表現しました。  
今年も一年、頑張っていきます！

議長

堀田 喜久男

三年超のコロナ禍を、新たな変革へのチャンスと捉えたい。その事を前提に、子育て支援、学校再編、企業誘致、農・商・工業振興、災害に強い町づくりなど、山積した町の課題解決に引き続き努めて参ります。



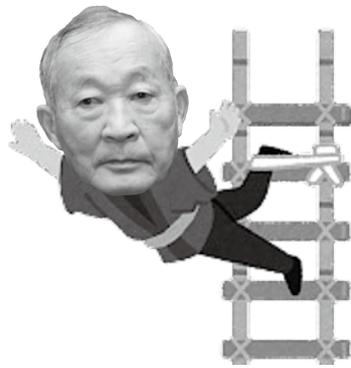
酒井 桂之

我が上市町は剣岳に抱かれて、自然豊かな暮らしやすい町です。街中に食事処や喫茶店を増やし、賑わいの町づくりをしましょう。



碓井 憲夫

緑と水、上市町の特性を活かした町づくり、食と農を求める移住者の応援をしたいと思います。



松谷 英真

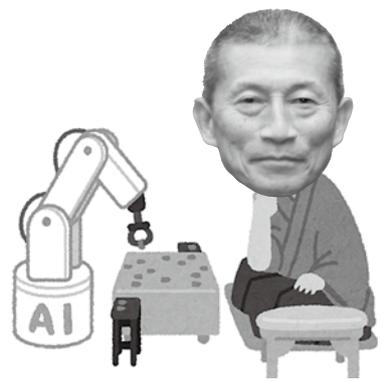
人口減少や少子化が進む現代、地域力をアツプしたい。町の発展と町民の健康と安全を最優先に考えます。



寺西 庄司

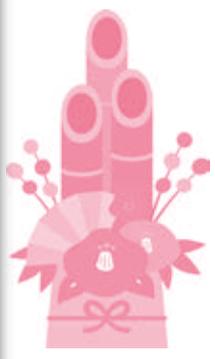
今年失敗を恐れないでチャレンジしていく一年にしたい。町の進むべき未来に、声をあげていきたい。



副議長  
**廣田 泰三**

初心を忘れず、気持ちを新たに、身体強化、パワー全開で積極的に未来の上市町のために取り組んでいきます。




**酒井 一好**

心は「永遠の青年」の概で元気に前進します。皆様のお声に真摯に取り組み、より良い上市町を目指します。



**松本 寛**

新年おめでとうございます。空家バンクにより、空家対策も前進しました。本年も一段と精進する所存です。



**當波 紀子**

きれいな町、安心・安全・防災、笑顔と幸福の町になるよう行動し、住民福祉のために頑張っているかを見つけていきます。



**椎名 寛子**

明るく楽しくをモットーに。いつかはベテラン議員に。信念を持ち自分の道を歩けるように頑張ります。



**廣田 透**

本年も町民の皆さまの声に耳を傾け、若さと行動力で良い町づくりが出来るよう提案していきます。



# 令和5年(2023年)12月定例会の審議の要点

11月臨時会は、11月10日(金)に開かれ、一般会計補正予算(5291万円増額)1件の審議を行い原案通りに可決しました。

12月定例会は、12月5日(火)から15日(金)までの11日間にわたり開かれました。令和5年度の一般会計・特別会計・水道事業会計・病院事業会計の補正予算8件、条例一部改正3件、条例制定1件、字の区域の廃止に関する件と町道路線の認定に関する件、人事案件、合計15件の議案について審議しました。すべて原案のとおり可決、同意しました。

## 12月定例会 ● 令和5年度補正予算(主なもの) ●

一般会計補正予算……3億250万円増額(総額112億1458万円)

国民健康保険事業特別会計補正予算…1001万円増額(総額20億1234万円)

病院事業会計補正予算…収益的収入 1252万増額(総額40億8574万円)  
 …収益的支出 4417万増額(総額43億665万円)  
 …債務負担行為 令和6~8年度限度額 1億3840万円

## 議案内容と主な事業

### 物価高騰支援給付金事業 (国臨時交付金)1億3010万円

- 住民税非課税世帯等に1世帯当たり7万円を給付



### 企業誘致推進費(県1/2、町1/2) 7000万円

- 企業立地助成金  
(株式会社東洋電制作所 電装工場増設)



### 水田農業経営緊急支援事業費 1000万円

- 猛暑により品質が低下し収量が減少したコシヒカリ作付け農家を支援(5円/kg)



## 11月臨時会

- 農地農業用施設災害復旧工事費 1696万円
- 豪雨災害の被災農地農業用施設の復旧工事
- 林業施設災害復旧工事費 3449万円
- 豪雨災害の被災林道の復旧工事



# 委員会報告

## 総務教育 常任委員会

### 企画課

新相ノ木駅10周年記念切手の発行部数と販売はどこで行うのか。

300シートを2種類作る。1シートに84



新相ノ木駅記念式典

円と63円の切手がついている。

役場企画課と町観光協会で購入する予定。

記念切手のデザイン、写真の提供は。

(株)内山精工の会長から電車の写真を提供していただいた。

恋活プロジェクトで出会い、結婚した実績は。

マッチングして連絡先を交換し、その後、交際を始めた事例はいくつか聞いているが、結婚については把握していない。

「おおかみこどもの森づくり」上市町ガバメントクラウドファンディングは、目標額に届かなかつた場合、実施できないのか。

目標額に届かなくても実施できる。

### 教育委員会

地域クラブに移行して、特に問題は出てきているか。

保護者や地域クラブからご意見があれば、地域クラブコーディネーターを中心に学校と連携しながら対応している。大きな問題は出ていないと思う。

丸山総合公園を含め、施設が飽和状態で中々使えないので、使いやすくしてほしい。

体育施設の調整会議で対応し、できるだけ使えるようにしていきたい。

廃部になった部活は。

令和5年度に廃部になった部活は無い。サッカー部は令和3年度末に廃部、野球部は3年生の引退により、現在、部員がいない状態である。

廃部の原因は。

中学校の入学を機にクラブチームに加入する生徒が多いため。

### 【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

### 産業厚生 常任委員会

かみいち総合病院

眼科診療の医師が曜日毎に代わっているが、この方針は継続か。

今年度はその予定。来年度は、大学病院側と協議している。

### 福祉課

産後ケアの利用状況は。

12月現在、利用件数は52件（見込み12件含む）、主に観光施設利用型が多く39件となっている。

物価高騰支援給付金7万円の支給はいつか。

2月中旬から支給が始まる。

### 建設課

町道若杉・中江上4号線を水路に蓋をして、道幅を広くするなど対応できないか。

検討する。

町道若杉・中江上4号線の消雪装置を延長できないか。

老朽化した消雪装置の更新でいづぱいの状況であるため、新設は難しい。

水道ビジョンの策定はいつか。

今年度末を目標に策定し、委員会で改めてお示しする。

### 【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査は了承。

本会議の様様を上市町公式YouTubeで公開中

本会議(12/5)



本会議(12/11)  
一般質問前半



本会議(12/11)  
一般質問後半



本会議(12/15)



本会議審議の結果  
はこちらから↓



## 一般質問

## 格差の是正で明るい職場を



碓井憲夫 議員

## 役場職員の格差是正

議員 正規と非正規雇用職員の格差の是正を。意欲ある非正規雇用職員の正規化を。

働く人の低賃金・期限付きなど不安定雇用が生活力、購買力を弱め、社会を下降させてきたおおきな要因。

期限付き不安定雇用はソフトエンジニアなどごく一部の限られた部門を限定に認められたものだが、際限なく拡大され並行して低賃金化が進行した。役場職員の病欠、中途退職も増えている。

町長 意欲ある会計年度任用職員の正規化を

不平等、不安定な職場の解消なくして、明るい社会、人口増が進むわけがなく、役場は格差の是正のお手本にならなければならない。

## 上市町役場の職員の状況

	2002年 (H14)	2022年 (R4)
人件費総額	1,521,016千円	1,027,846千円
人件費に占める非正規雇用職員の比率	12.4%	26.6%
直近5年間の病欠者（20日以上）の総計	16人	
直近5年間の20日以上欠勤の未、退職した職員の総計	3人	

## 地域の学校を守る

という指摘だが、競争試験を受けて任用されている常勤職員とは採用方法が明確に異なるため困難。なお、常勤職員の採用試験については、近年、年齢要件を緩和するなど受けやすい体制づくりに努めているので、意欲のある会計年度任用職員は、ぜひ採用試験を受けていただき、非常勤職員として補助的役割にとどまるのではなく、常勤職員として自ら上市町の課題解決に取り組んでもらいたい。

議員 校区の学校がなくなるにより転入者の減少、校区の減退につながるのか。

子供の数の減少、先生が少ないことを理由に学校の統廃合が進められているが、町村合

併など、統廃合はあらゆる分野で進められてきた。かつては、種、護摩堂、伊折地域にも分校という形で、学校があり、大岩、黒川、音杉にも小学校があった。小学校の生徒数が三千人を超えていた時代でも学校の統廃合が進められ、同時に過疎化、農林業の後退、野生動物による被害も進んだ。

複式学級、小規模校が子供に良くないという実証はない。上市町の強みは豊かな自然、農村だ。農村地域から学校をなくすと上市町も後退すると考える。

学校の統廃合が全国で進められているが、子どものためでなく、国の動向に従った教育予算の削減が目的ではないのか。

町長 町内全体で子ども

もの数が大きく減少し、最高で6クラスあった上市中央小学校でさえかろうじて2クラスを維持している状況であり、他の小学校5校はいずれも1クラス、そして白萩西部と陽南は本来なら複式学級となるべき人数しか在籍していない。審議会では「学校を統廃合するにあたり魅力的な学校づくりを行ってほしい。」「新しい学校の整備を契機に上市に住みたいと思ってもらえるまちづくりを進めてもらいたい。」などの意見がでている。今後、審議会の答申を頂戴し、その内容をしっかりと踏まえながら、統合してよかった、町外の方からは通わせたいと言われる学校づくりを進めていってほしいと思う。



# 窓口 DX は慎重に進めて HPV ワクチンで救われる命

椎名 寛子 議員

## デジタルトランスフォーメーション

**議員** 窓口DXを進めるということは維持管理費がかかってくる。熟慮し慎重に進めるべきである。

また、自治体職員と政府機関職員との対話の場であるデジタル改革共創プラットフォームへの登録をすべきである。今後のためにデジタル人材の育成に力をいれてほしい。

**企画課長** 上市町地方創生SDGs推進本部に設置した若手職員を中心とする自治体DX推進プロジェクト部会において、DXの取組を研究するとともに生成AIの活用や事務のペーパーレス化の実証実験、研修会の開催など、役場内でのDXの認識共有と機運の醸成

を図ってきた。

新年度に窓口担当職員で構成するワーキンググループの設置を考えている。この組織で検討を重ね、ガバメントクラウドにこだわらず、本町に最適なサービスを導入していききたい。

デジタル改革共創プラットフォームフォームについては、現在、登録手続きを進めており、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用したDX推進事業を展開していくための情報収集に活用していく。デジタル人材の育成については、外部の専門家を町のCIO補佐官に招聘し、人材の育成についてもサポートしている。

## 子宮頸がん予防ワクチン(HPV)

**議員** 厚生労働省がHPVワクチンの接種の機会を逃した方々に、キャッチアップ接種を開始している。また、県は普及啓発キャンペーンを行う。当町におけるキャッチアップの現状は。

**福祉課長** HPVワクチンは、平成25年度より定期接種となったがワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が特異的に見られ、国は積極的な勧奨を差し控えてきた。その後、様々な検証がなされ、令和3年11月の専門家会議で安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、令和4年4月から積極的勧奨が再開された。HPVワクチン

の接種は、基本的に3回の接種が必要で、当町の接種状況は、左表のとおりである。対象者数に比べて接種人数が少なく感じられるが、令和4年度の定期

接種の実施率は、県下で2番目に高い。

**議員** 撲滅できる可能性のあるガンです。キャッチアップ接種よろしくお願ひしたい。

当町のHPVワクチン接種の接種状況 (R5.10月末現在)

		定期接種 (12歳～16歳の女子)		キャッチアップ接種	
		令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
対象者数 (人)		417	398	739	780
接種人数 (人)	1回目接種	51	28	91	63
	2回目接種	45	8	83	46
	3回目接種	28	10	53	38

## 一般質問

## 夢ある令和6年度予算編成へ



酒井桂之 議員

令和6年度の予算編成は

**議員** 誰もが住みたい町、住み続けたい町にするための予算編成は。

**町長** 子育て支援の充実、移住定住、脱炭素化社会実現の取組、住民サービス向上のためのDXを核に取組んでいく。歳出で資材・人件費の上昇などで費用の増加が見込まれ、厳しい予算編成になる。第8次総合計画にある「つながる上市」「にぎわう上市」「ささえあう上市」に掲げる施策を着実に進めることにより、町民満足度の向上に努め、誰もが住みたい町、住み続けたい町にしていきたい。

**議員** 主なプロジェクト事業をどう考えているのか。

**町長** 大坪地域工業団

地の整備に向けて準備を進め、いずれ出される学校教育審議会の答申を踏まえた学校整備に向けての具体的な財政計画の検討、丸山総合公園の施設改修や保健福祉総合センターの空調設備の更新など公共施設の長寿命化を計画的に進める。

## ツキノワグマの対策は

**議員** クマ出没状況と被害にあわない対策は。

**産業課長** 12月7日現在で県内で627件と、昨年の221件に比べて大幅な増加となっている中、当町では12件であり、昨年は8件で概ね横ばいとなっている。

クマの被害にあわないために町の対策として、混みあっている竹

林や広葉樹林を刈り払いする里山再生整備事業を、上市川沿いの野島地区など、クマの通り道になりやすい場所などで実施した。10地区で地域住民の協力のもと、継続して事業に取り組んでクマの出没防止に努めている。毎年、5月・10月の町広報でクマ出没の注意喚起に努めているほか、柿の木の伐採支援を3件実施した。

**議員** クマを駆除する人の確保をどのようにするのか。

**産業課長** 猟銃及び狩猟免許の取得が前提となるので、町で狩猟免許所持者の増加に向けたガイダンスの案内を産業課力ウンターや町広報、ホームページに掲載し、一人でも多くの町民に興味を持って頂くために周知に努め

ている。近年では30代が1名、40代が4名、70代が2名で合わせて7名が狩猟免許を取得され、猟友会へ入会された。クマなど大型野

生動物を駆除するためには、知識や経験が必要となるので確実に伝承してもらうために猟友会へ働きかけたい。



竹林を刈り払いた野島地内



# 企業版ふるさと納税 小学校の教育に農業を

廣田 透 議員

## 企業版ふるさと納税の取り組み

**議員** 上市町の税収として個人のふるさと納税のほかに企業版ふるさと納税があるとの事だが、その概要と町の取り組みはどうか。

**企画課長** この制度は、地方公共団体が行う地方創生の取組に対して企業が寄附を行った場合に、法人税が軽減される仕組みで、平成28年度に創設され令和2年度には制度改正があり、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が寄附額の約1割まで圧縮されるなど、大幅な見直しが行われた。企業が企業版ふるさと納税を活用するメリットとして、法人税の高い軽減効果を受けられるほか、社会貢献を

行う企業としてのPR効果があること、地方公共団体との新たなパートナーシップを構築できること、地域資源などを活かした新事業展開が期待できることなどがある。

当町では、令和3年度に2社1020万円、令和4年度には1社10万円の実績があるが、全国では令和4年度の企業版ふるさと納税の寄附総額は前年度比1.7倍の約341億円、寄附企業は4663社で、まだまだ伸びる余地のある市場となっている。このため、今年の9月補正予算で企業版ふるさと納税の活用や官民連携に実績がある専門業者への委託経費を計上させていただいており、企業に選ばれた共創したくなる寄附の

## 学校教育に農業を

メニューを具体的にビジュアル化することで、企業へのアプローチを進めていきたいと考えている。

**議員** 上市町の学校教育は大きく変わりつつあると感じているが、保護者から上市町の特色を生かした教育が出来る。小学校の段階から上市町の農業を体験する教育は出来ないか。

**教育委員会事務局長** 近年、子供たちは直接体験が不足する傾向にあるので、社会性や豊かな人間性を育むためには、体験活動はこれまで以上に重要な意義を持つているものと考えている。本町の農業体験の取組みについては、各学

校で年間指導計画に基づいて実施している。例えば小学校2年生の生活科の夏野菜の栽培、4年生の理科でのインゲン豆やヘチマの栽培のほか、学校によっては、総合的な学習の時間で、落花生や大豆づくりを行っている。中学校では、1年生で技術家庭科の時間に白菜やキャベツ、ブロッコリーの栽培などを行っている。

また、地域の特色を生かした農業体験として、宮川小学校の5年生が地域の方の協力を得て学校田によるもち米の栽培、収穫を行っており、白萩西部小学校と陽南小学校では、平成21年から続く上市高校の「児童・生徒のふれあい交流活動」に参加し、ニンジン収穫と花の植え替えを体験しながら、交流を深めている。

現在、小中学校の教科や教育内容については文部科学省の学習指導要領で定められており、学校裁量で使える時間は限られているが、教育委員会としては、農業体験も含めた体験活動の持つ積極的な意義について、校長会等の理解を求め、その推進を呼びかけていく。

農業体験の様子



一般質問

# ふるさと納税の現状と今後



廣田 泰三 議員

**ふるさと納税について  
現在の状況と住民税  
の控除額、ふるさと納  
税の今後の展望**

**議員** ふるさと納税は自分の居住する自治体以外の自治体に寄附を行うことで、その自治体を応援することができます。寄附先の自治体が行う事業を指定できることから税金に対する意識が高まる事にもなる。

寄附された自治体はお礼として返礼品を提供する仕組みとなっている。

**ふるさと納税の現在の状況は。**

**財務課長** ふるさと納税として上市町以外からご寄附をいただいた金額は、令和4年度決算では691万2千円でしたが、今年度11月末時点では710万円

であり既に昨年度の寄附額を超えている。  
**ふるさと納税返礼品例**

上市町の人気ランキング



**議員** 上市町民が他の市町村にふるさと納税により寄附をしたことによる住民税控除額は。

**財務課長** 上市町民が他の市町村へふるさと納税をされたことによる住民税控除額は、令和4年度は、1332万7千円、令和5年度は1774万円であり、当町へのふるさと納税額以上に町

の住民税が減収している事態となっている。  
**議員** ふるさと納税の今後の展望は。

**財務課長** こうした状況に危機感を抱いた役場の若手職員が今年度に入り部署を超えて集結し、検討会を重ね、ふるさと納税額を増加させるには、まずは隠れた返礼品を発掘することが重要だということになった。

その後、広報上市やホームページなどを通じた新たな返礼品の提供者の募集を行ったところ、今年度当初から11月末現在で新たな返礼品が40品増えている。また、既存返礼品のブラッシュアップ、広告やSNSを活用した町の魅力や返礼品の情報発信なども実施したことから、少しずつ成果が出てきているよう

## ふるさと納税制度とは

「ふるさと納税」は、ふるさとや縁(ゆかり)のある地域に貢献・応援したいという想いを実現するため、ふるさとへ寄附という形で貢献する制度です。

寄附者は、寄附金額に応じて所得税や個人住民税で控除が受けられます。

上市町では、皆様からいただいた貴重なご寄附を、「つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市」実現のため、次の施策に活用させていただきます。

- ① つながる・上市  
～幸せでわくわくのミライへつながる子育て・教育  
…子育て支援の充実、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化芸術など
- ② にぎわう・上市  
～変化と継承へのチャレンジでにぎわう産業・基盤  
…農林・商工振興、観光の充実、移住・定住の強化など
- ③ ささえあう・上市  
～守るべきものを守り、みんなでささえあう安全・安心な暮らし  
…保健・医療・福祉の充実、消防防災など
- ④ 「かみいち総合病院」への支援  
…新型コロナウイルス感染防止をはじめ、  
地域医療の中核である「かみいち総合病院」への支援



に感じている。  
なお、令和5年10月のふるさと納税の制度改正に伴い、寄附金により地域に残るよう返礼品等の基準が見直された。  
当町も本制度の趣旨に添って、返礼品及び情報発信力強化に努

上市町ふるさと納税サイト



め、地域産業の活性化にも資するよう鋭意取り組んでいく。



# 町内会活動をサポートするアプリ 世代間交流とデジタルの学び

寺西 庄司 議員

## 町内会活動を援助

**議員** 多くの町内会では少子高齢化が進み、役員のなり手不足など、様々な悩みや課題を抱えている。そのような状況に寄り添って欲しい。町内会の活動をサポートするアプリはあるのか。

**総務課長** 町内会の活動をサポートするアプリについては、電子回覧板機能を有し、各世帯への情報配信、行事への出欠確認等をスマートフォン等で行えるアプリがある。実際に、県内他市町村の一部の町内会において活用されている。

## アプリ導入の支援

**議員** 町内会の活動を助ける手段として有効なアプリの導入を支援

して欲しい。

**総務課長** 町としては、新年度予算において、当該アプリ導入を希望する町内会に対して、その初期費用を助成する制度の創設を検討している。この助成に係る予算が成立した際には、当該アプリの活用を希望する町内会を募り、その導入を支援するとともに、こうした取り組みを周知し、広めていく所存であり、町内会活動の利便性向上を図るとともに、将来的には町から配布物の削減につなげて、町内会の負担を軽減したい。

## 新相ノ木駅10周年

**議員** 新相ノ木駅の10周年に町を挙げて行う記念事業はどのような企画か。

## 企画課長

相ノ木保育園児に記念乗車してもらい、上市駅で記念セレモニーを開催予定、また10周年記念のオリジナル切手を制作して利用者に配布するほか、役場や町の施設で販売することを計画している。

町としては、令和2年3月に策定した「上市町地域公共交通網形成計画」が令和6年度に期間満了を迎えるため、今年度と来年度の2ケ年で次期計画となる「上市町地域公共交通計画」を策定する。今後とも地鉄本線が、カーボンニュートラルに資する、環境に優しい町の重要な公共交通機関として、町民の皆さんに親しまれ、利用しやすいものとなるよう努めていく。



新相ノ木駅 10周年

## デジタルデバインド

**議員** デジタルデバインド（情報格差）とは、インターネットなどの情報技術の恩恵を享受できる人と、対応できない方々の間に生じる格差である。

格差解消のために、スマホ教室などで参加者の好評を得ているとのこと。

当局として、世代間交流を活用した、学び

を促進する事業等はあるのか。

## 教育委員会事務局長

デジタルデバインド対策に限らず、子どもから高齢者がSNSを安全に、有効に利用できるように学んでいく事も大切だと考えている。

今年度より公民館への委託事業のメニューとして、新たに「公民館学び・体験等支援事業」を設け、子どもたちや若年層が公民館を訪れる機会の創出を目的に、地域課題の解決、各種体験、世代間交流について事業費の支援を行っている。この事業を、例えば、小中学校や高齢者向けスマホの安全な使い方教室などに活用していただくよう、各公民館に働きかけていきたい。

一般質問

# 带状疱疹ワクチン プレコンセプションケア



酒井一好 議員

带状疱疹ワクチンの助成拡充を

**議員** 带状疱疹の予防接種には2種類のワクチンがあり、効果のあると考えられる不活化ワクチンは2回接種合計で4万円以上かかる。助成額の拡充を求む。

**福祉課長** 令和3年度から当町が県内で最初に接種費用の助成制度を開始しており、50歳以上の方を対象として一人につき5千円助成している。不活化ワクチンを取り扱う医療機関の増加に伴い、不活化ワクチンの接種を希望する方が増える予想されることから、新年度予算の編成過程において带状疱疹ワクチンに対する助成内容の見直しを検討していきたいと考えている。

プレコンセプションケアの取り組みは

**議員** 富山県の事業として5市町村で「とやまプレ妊活健診」がスタートしている。上市町はどの様な取り組みを考えているのか。

**福祉課長** 当町では、これまで不妊治療に対する助成に積極的に取り組んできた。プレコンセプションケアにつ

ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
発症予防効果	50歳以上 51.3% 70歳以上 37.6%	50歳以上 97.2% 70歳以上 89.8%
带状疱疹後神経痛の減少率	67%	70歳以上 88.8%
免疫持続効果期間	約5年	10年以上
接種回数	1回	2か月間隔で2回 (遅くても6か月後まで)
費用 ( )は町の助成を利用した場合	8,000円程度 (3,000円程度)	22,000円程度×2回 (39,000円程度)



生涯のうちのプレコンセプションケアの位置づけ  
(国立成育医療研究センター HP より引用)

いては、妊娠・出産に影響する疾患を早期に発見し現在の体の状態を把握することで、将来の妊娠に向けた健康管理を推進し、理想のライフプランの実現やウエルビーイングの向上を目指すものである。県の事業である「とやまプレ妊活健診」は、婚姻後3年以内の夫婦などを対象に指定医療機関で妊娠・

出産に影響する子宮頸がんリスク検査や性感症などの疾患についての健診を無料で受診することができる内容であり、その健診にかかる費用は県と町が2分の1ずつ負担するものとなっていることから、新年度予算への計上を前向きに検討したい。

なお、将来子どもを持つか、持たないかに関わらず、妊娠・出産を考える前の世代から健康な生活習慣の確立や生活の質の向上を目指すことは大切であるため、中高生に対する産婦人科医を派遣して実施する県の出前講座の案内や、はたちのつどの際に性についての知識や将来の妊娠・出産への準備に関するリーフレットを配布するなど、プレコンセプションケアの重要性を広く周知していきたい。

ほかに

- ・ 終活サポート
- ・ 地域文化財総合活用推進事業
- ・ 防災士の育成について質問し、答弁を得た。

全国過疎問題シンポジウム2023 in やま(10月26日〜27日) 富山県南砺市、氷見市、朝日町(参加議員分科会各1名

南砺市分科会

全国過疎問題シンポジウムが今年富山県で開催された。全国から参加者が集まる規模の大きなシンポジウムである。現地視察は朝日町、氷見市、南砺市の3コース。私は南砺市を選択し、古い町並みの中にリノベーショ

と思う。

相倉合掌造り集落の視察では、そこで知り合いになった方は都庁の職員。何故、過疎問題シンポジウムに都庁の職員がと不思議に思い聞いてみた。「東京にも過疎地はあるのですよ、島がありますから」と教えてくれた。伊豆諸島に9つ、小笠原諸島に2つ、計11の有人島があるので、そのうちの何島かは過疎問題を抱えているのだらうと納得した。現地への視察は、空気感を肌で感じ、新たな出会いもある。今回のシンポジウムはなかなか有意義な時間であった。今後も是非参加してみたいと思う。

(椎名寛子)

氷見市分科会

地方から都市部への人口流出により過疎が進みました。過疎地域では人口減少や少子高齢化により産業の衰退、地域社会の活力の低下、集落機能の低下等の課題に直面しています。当町でも山村集落の人口流出により高齢化が進み集落としての機能が低下し、営みが困難になり無くなった集落があります。放置された山林、農地が荒廃化している問題があります。過疎化は空家問題、公共交通の利便性や維持機能の低下、そして地域の伝統文化の継承や農産物の後継者不足等、生活環境が低下していきます。

一方で豊かな自然や

森林、農地を有し水源や農産品、治山、自然災害の防止といった人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担っています。過疎対策の取組について今回、豊かな少数社会を目標に、過疎地域の持続的開発、発展に取組んでいる各地の事例発表を聴くことができました。

少数社会では人と人が支え合っている状況をつくるのが可能であること。また、それが出来ること。パワーとスキルを持つ人の参入で新しい仕組みの創出が可能であること。

過疎地域の可能性について、新たな発見と全国の優れた取組を聴き将来に向け考える機会となりました。

(廣田泰三)

朝日町分科会

朝日町Mass実践推進協議会が過疎地域持続的発展優良事例で総務大臣賞を受賞した。この取り組みは「ノッカルあさひまち」と称し報道でもよく取り上げられている。事業を主導した畠山氏は民間企業の方であり、「朝日町次世代パブリックマネージメントアドバイザー」として様々な施策提案に関わっており、エネルギーあふれる発表を伺うことが出来た。積極的に役場職員、町民の方々に接して信頼関係を構築される姿勢には感銘を受けた。我が上市町でもこの様な外部人材を巻き込む手法も有効ではないかと感じた。

初日の全体会で各受賞者講演の講評をされた早稲田大学名誉教授の宮口氏もこの分科会に参加され、様々な工ピソードを紹介され、充実した分科会であったと感じた。

朝日町の様々な名所を視察できた。後日ゆつくり訪れたいと思うところばかりであり、我が町も見どころを更に充実、創造したいと感じた。(酒井一好)



## 令和5年度 市町村議会議員研修報告

(11月20日、21日 全国市町村国際文化研修所) 参加議員2名

### 防災と議員の役割

日本は災害の多い国です。近年は頻発する地震、地球温暖化や気候変動により巨大化する台風、増大する集中豪雨、毎年どこかで集中豪雨による被害が起きています。

上市町にも今年は、6月28日、7月12、13日に豪雨による被害が起きました。大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表され、避難所を開設する事態となりました。

災害に直面した場合における議員としての議会としての災害時の役割について研修を受ける機会を得ました。研修では実例、体験の講演、大規模地震災害の予測と対応策、平時の防災と議員の役

割、災害時、復旧、復興の議員の役割等について小グループにて事例検討ワークショップ形式で学習しました。

災害時に議会がどのような活動をするべきか、議会がどのようなことをしてはいけないか、復旧復興時の議会としての活動の仕方、災害時、復旧復興における関わり方等改めて考える機会となりました。

災害は地震、台風、豪雨、猛暑、豪雪、噴火、そして広域に被害をもたらす感染症等あり、いつ起きるかは分かりません。

日頃から防災意識を持ち、備えることが大切ですが、なかなか理想通りに出来ていないのが実情です。

私たちは、「自分が

災害に遭うことはないだろう」と考えがちです。しかし、近年は思いもよらない所で多くの災害が発生しています。災害は決して他人事ではありません。

災害が起きた時、落ち着いた行動が取れるよう日頃から災害時の心構えを持つておくことが大切です。

地域の防災体制を確認したり地域の防災訓練に参加する。

自助、共助の意識を持ち地域の繋がりを大切にしていく。

（廣田泰三）

## 令和5年度 市町村議会議員研修報告

(10月18日、20日 全国市町村国際文化研修所) 参加議員1名

### 地方財政制度の基本と自治体財政

例をとおして、基礎自治体の予算規模、財政運営手法の考え方。

地方財政は地域の公共サービスを提供するうえで、重要な役割を担っている。本研修では、地方財政制度の基

本や仕組みについて学び、自治体財政の現状や様々な課題について

学習した。また、自治体財政の現場の状況等を学ぶことにより、これからの議員や議会の

役割について理解を深めることができた。

#### 研修のポイント

①地域社会を支える地方財政制度の仕組みについて、地方財政の全体（マクロ）と個々の自治体財政（ミクロ）の関係を中心に財政制度の基本事項。

②伯耆町、川西市の事

③「実質公債費比率」、「将来負担比率」、「経常収支比率」等の指標の意味と評価方法を実例を通して実習。

④「取り崩し型基金（財政調整基金、減債基金）の目安。

⑤地方債償還額を推移でとらえる手法。

各ポイントについて総務省地方財政審議会会長の小西砂千夫氏に講義いただいた。初日には小グループに分かれ、事前課題の内容等に沿って意見交換会を行い、まとめを各研修室をZoomでつないで発表会を行った。

地方財政制度について実例を通し、系統的に学ぶことが出来た。

各財政指標についても内容と評価方法を学ぶことが出来た。講義のスピードが速く、内容も濃密と感じた。今後の復習にて理解を深める様に努力したい。

グループワークや交流会で他自治体の議員の皆様と交流し、生々しい話や、成功例等も聞くことが出来た。

今後も復習と研鑽を積み重ね、得られた知見を以降の議員活動に活かしていく所存である。

（酒井一好）



中新川郡町村議会議長会研修会報告（11月22日）

富山地区広域圏エコロセンター（有害鳥獣焼却施設）  
株式会社 白岩

5年ぶりに立山、舟橋、上市の議員が一同に会して行われた中新川郡町村議会議長会研修会の概要について報告します。

はじめに、立山町小又地区にある富山地区広域圏エコロセンターを視察しました。クリーンセンターの副所長から有害鳥獣焼却施設の概要について説明があり、これまで駆除した有害鳥獣は埋め立て処分が原則で、消毒や土地の確保が課題でしたが、今後は、この施設のお陰で、安全な焼却が可能になり、住民の安心な暮らしに寄与することになるということです。

次に、同町白岩地区にある酒造メーカー（株）白岩を視察しました。同社のフランス人従業員にとっても流暢な日本語で施設内を案内していただき、立山町で創業したいきさつや、ワイン製法の感覚を日本酒づくりに取り入れ、熟成という技法でブレンドして酒づくりするという説明でした。

さらに、日本だけではなく世界に広め、高級レストランをターゲットに食事と酒のマリアージュで販路拡大したいという熱い思いが伝わってきました。また、その後の意見交換会では、互いの自治体をよく知り、議会活動を高めあっていく有意義な情報交換ができ、今後の議会活動に生かしていきたいと強く思いました。  
（寺西庄司）



富山地区広域圏エコロセンター視察の様子

追跡レポート その後実った議会での提案・要望

かねてより議会から要望しておりました上市スマートインターチェンジ高速バス停留所に東京便が停車するようになりました。

令和5年12月15日スタート!  
上市町から東京への  
新たな公共交通手段が誕生



東京便の停車を記念して、上市町のPRラッピングバスが走行しています。

運行ダイヤ

上り	2便	8便	下り	1便	5便
上市	6:26	23:56	バスタ新宿	6:55	22:25
池袋駅東口	12:33	6:03	池袋駅東口	7:20	22:50
バスタ新宿	—	6:28	上市	13:26	4:56

## 町民の声 紹介



森 尻  
伊井弘美さん

町議会にはとても興味があります。一度は傍聴に参加して、議員の皆さんの議場で頑張りを生で見たいと思っています。議員の皆さん、町民目線で、上市町のためにしっかり頑張ってくださいね。

● 議会に期待することは

最近、孫の世話をしながら、昔に比べて子どもを遊ばせる場所が多くなっていることに気づき嬉しく思っています。子育て世代に対する手厚い政策をさらに進めてほしいと思います。フォトロゲイニング、つるぎマラソンやeスポーツなど町のイベントに取り組む姿勢はとても良いですね。



湯崎野  
中田雄大さん

上市町で約50年地元密着で祖父の代から保険業を営んでおります。上市町商工会青年部の部長として、昨年に続きカミールにてカミワンというイベント事業を開催しました。コロナも落ち着き多くの人が集まり賑わう場を創出したいという思いから、青年部員一丸となり取り組みました。町内外から多くの子供や大人が訪れ、上市町はこんなに楽しい町なんだとこれからもPRしていきたいと思えます。

● 議会に期待することは

上市町の持つ自然のポテンシャルをもっと有効活用し、人が町に集まりたくなるような取り組みに期待します。

# 議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。



### お知らせ

「声」の募集

町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

議会会議録検索

<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>



議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 酒井 一好 |
| 副委員長 | 當波 紀子 |
| 委員   | 廣田 透  |
|      | 椎名 寛子 |
|      | 廣田 泰三 |
|      | 松本 寛  |
|      | 寺西 庄司 |

### 編集後記

カメラを構えると、いつもすてきな笑顔や真剣な表情を魅せてくれます。

議会広報の表紙の写真は世代を超えて交流する、町内のイベントの1コマを切り取っています。樹木を植えたり、餅を搗いたり、発表会で演奏したり、流しそめんを手繰ったり、季節を感じ何事にも真剣な表情には、心を打つ力があります。写真を撮るものも、幾多の写真の中から表紙に選ぶものも、真剣です。そのきらきらとした生命力を町民の皆様へ届けたくて議論します。本号の表紙はいかがでしょうか。毎号写真を撮らせて頂いた皆様に感謝します。新しい年が笑顔と幸福にあふれる一年となりますようご祈念いたします。

(當波紀子)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-2550 FAX076-472-1115 ホームページ<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>

